

対象校No.

注4

学校コード

注3

設置年度

令和

7年度

計画の区分： 短大の学科の設置

注1

届出

注2

新渡戸文化短期大学

フードデザイン学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人新渡戸文化学園

令和8年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

短大事務課

職名・氏名

ジチュウ ミヤタ マサユキ
次長・宮田 雅之

電話番号

03-3381-0197

(夜間)

e-mail

j_kyom_k@nitobebunka.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(令和◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・「〇〇短期大学 △△学科」
- ・「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)」
- ・「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和8年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

フードデザイン学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	15
5. 教育研究実施組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	32

1. 調査対象大学等の概要等

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人新渡戸文化学園

(2) 大 学 名

新渡戸文化短期大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒164-8638

東京都中野区本町6丁目38番1号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ウスイ (ヒライウ) クニヤス) 臼井 (平岩) 国泰 (令和元年6月)		
学 長	(ミヤチ ハヤト) 宮地 勇人 (令和5年4月)		
学 部 長			
学科長等	(ヤマモト ケンジ) 山本 謙治 (令和6年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和7年度に報告する内容 → (7)

令和8年度に報告する内容 → (8)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和8年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
フードデザイン学科 短期大学士（フードデザイン）	家政関係	2年	80人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	160人	—	入学定員 栄養士コース50人・食生活デザインコース30人 収容定員 栄養士コース100人・食生活デザインコース60人

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		春季入学以外の 学期区分につ いて	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 （控除後）	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳	0.79倍	倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	69 []	() []	74 []	() []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	69 []	() []	74 []	() []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	69 []	() []	72 []	() []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	62 []	() []	69 []	() []				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	0.77	—	0.86	—				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（（ ）書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して記入してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和9年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の収容定員充足率を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) 一③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	62 [－] (－)	－ [－] (－)	69 [－] (－)	－ [－] (－)	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	58 [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)
4 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)
計			－ [－] (－)	－ [－] (－)			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	62 [－] (－)	－ [－] (－)	127 [－] (－)

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和3年度	－ 人	－ 人	令和3年度	－ 人	－ 人	
令和4年度	－ 人	－ 人	令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
令和5年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
令和7年度	62 人	4 人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	4 人	0 人	進路変更(3人)、経済的理由(1人)
令和8年度	127 人	0 人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
			令和8年度	0 人	0 人	
合 計		4 人		4 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{4}{66} = \boxed{6.06} \%$$

【令和8年度】

$$\frac{\text{令和8年度の退学者数(a)}}{\text{令和8年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{127} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2. 授業科目の概要

2 授業科目の概要

＜フードデザイン学科＞

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置						その教員等が担当する授業科目の単位数
				必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手		
基礎教育科目	新渡戸レクチャー	1前	○	1		2						6	
	日本語表現	1・2後		2								1	
	心理学	1・2前		2								1	
	社会学	1・2前		2								1	
	法学	1・2前		1								1	
	基礎英語	1・2前		2								1	
	英会話	1・2前		2								1	
	食のキャリア英語	1・2後		2								1	
	スポーツ実技	1・2後		1								1	
	スポーツ科学	2後		1								1	
	コミュニケーション	1・2前		2								1	
	情報機器演習	1・2前		1								1	
	※農工マルチメディア演習	1・2後		1								1	
	MOS演習	1・2後		1								1	
	基礎ゼミ	1通	○	1		2	3	3				1	
	ビジネスマナー	1前		1								1	
	キャリアデザイン	1後		1								1	
小計(17科目)				—	4	20	0	2	3	3	0	15	
専門科目Ⅰ (共通必修)	食品学	1前	○	2			1						
	食品学実験	1前		1			1						
	食品加工・鑑別論	1後		1			1						
	食品加工・鑑別実験	2後		1			1						
	食品加工流通学	1後	○	1			1						
	食品衛生学	1前		2								1	
	基礎栄養学	1前	○	2		1							
	栄養学	1前	○	2		1							
	応用栄養学	1後	○	2			1						
	調理学	1前	○	2			1						
	調理学実習Ⅰ	1前		1			1					1	
	調理学実習Ⅱ	1後		1			1					1	
	調理学実習Ⅲ	2前		1			1					1	
	食事計画論	1後	○	1			1						
	給食計画・実務論	1後	○	1			1						
小計(15科目)				—	8	13	0	2	2	2	0	0	2
専門科目Ⅰ (栄養士コース必修)	公衆衛生学	2後		2								1	
	社会福祉概論	2後		2								1	
	体の構造・機能学	1前		2			1						
	体の構造・機能学実習	1後		1		1	1						
	栄養生化学Ⅰ	1後	○	2		1							
	栄養生化学Ⅱ	2前	○	2		1							
	運動生理学	2前		1			1					1	
	健康管理概論	2前		1			1					1	
	食品衛生学実験	1後		1			1					1	
	応用栄養学実習	2前		1			1						
	臨床栄養学	1後		2								2	
	臨床栄養学実習	2前		1								2	
	栄養教育論Ⅰ	1前	○	2		1							
	栄養教育論Ⅱ	1後		2								1	
小計(19科目)				—	0	29	0	1	3	0	0	0	6

【令和8年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の教員等が担当する授業科目の単位数	
				必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	新渡戸レクチャー	1前	○	1			2					6	
	日本語表現	1・2後		2								1	
	心理学	1・2前		2								1	
	社会学	1・2前		2								1	
	法学	1・2前		1								1	
	基礎英語	1・2前		2								1	
	英会話	1・2前		2								1	
	食のキャリア英語	1・2後		2								1	
	スポーツ実技	1・2後		1					1			1	
	スポーツ科学	2後		1					1			1	
	コミュニケーション	1・2前		2								1	
	情報機器演習	1・2前		1								1	
	※農工マルチメディア演習	1・2後		1								1	
	MOS演習	1・2後		1								1	
	基礎ゼミ	1通	○	1			3	3	1	1			
	ビジネスマナー	1前		1								1	
	キャリアデザイン	1後		1								1	
小計(17科目)				—	4	20	0	2	3	1	1	0	14
専門科目Ⅰ (共通必修)	食品学	1前	○	2				1					
	食品学実験	1前		1				1					
	食品加工・鑑別論	1後		1				1					
	食品加工・鑑別実験	2後		1				1					
	食品加工流通学	1後	○	1				1					
	食品衛生学	1前		2									1
	基礎栄養学	1前	○	2			1						
	栄養学	1前	○	2			1						
	応用栄養学	1後	○	2			1						
	調理学	1前	○	2				1					
	調理学実習Ⅰ	1前		1				1					1
	調理学実習Ⅱ	1後		1				1					1
	調理学実習Ⅲ	2前		1				1					
	食事計画論	1後	○	1							1		
	給食計画・実務論	1後	○	1							1		
小計(15科目)				—	8	13	0	1	2	0	1	0	3
専門科目Ⅰ (栄養士コース必修)	公衆衛生学	2後		2									3
	社会福祉概論	2後		2									1
	体の構造・機能学	1前		2				1					
	体の構造・機能学実習	1後		1		1		1					
	栄養生化学Ⅰ	1後	○	2		1							
	栄養生化学Ⅱ	2前	○	2		1							
	運動生理学	2前		1									1
	健康管理概論	2前		1				1					1
	食品衛生学実験	1後		1							1		1
	応用栄養学実習	2前		1		1							
	臨床栄養学	1後		2									2
	臨床栄養学実習	2前		1									2
	栄養教育論Ⅰ	1前	○	2			1						1
	栄養教育論Ⅱ	1後		2									
小計(19科目)				—	0	29	0	1	1	1	1	0	

【令和7年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	主 要 授 課 科 目	単 位 数			基 幹 教 員 等 の 配 置					の 科 教 員 等 が 担 当 す る 単 位 数
				必 修	選 択	自 由	教 員	准 教 員	講 師	助 教	手 助	
基 礎 教 育 科 目	新渡戸レクチャー	1前	○	1			2					6
	日本語表現	1・2後		2								1
	心理学	1・2前		2								1
	社会学	1・2前		2								1
	法学	1・2前		1								1
	基礎英語	1・2前		2								1
	英会話	1・2前		2								1
	食のキャリア英語	1・2後		2								1
	スポーツ実技	1・2後		1					1			1
	スポーツ科学	2後		1					1			
	コミュニケーション	1・2前		2								1
	情報機器演習	1・2前		1								1
	※農工マルチメディア演習	1・2後		1								1
	MOS演習	1・2後		1								1
	基礎ゼミ	1通	○	1			2	3	1	1		
	ビジネスマナー	1前		1								1
	キャリアデザイン	1後		1								1
小計(17科目)	—		4	20	0	2	3	1	1	0	14	
専 門 科 目 Ⅰ (共通必修)	食品学	1前	○	2				1				
	食品学実験	1前		1				1				
	食品加工・鑑別論	1後		1				1				
	食品加工・鑑別実験	2後		1				1				
	食品加工流通学	1後	○	1				1				
	食品衛生学	1前		2								1
	基礎栄養学	1前	○	2			1					
	栄養学	1前	○	2								
	応用栄養学	1後	○	2				1		1		
	調理学	1前	○	2				1				
	調理学実習Ⅰ	1前		1				1				1
	調理学実習Ⅱ	1後		1				1				1
	調理学実習Ⅲ	2前		1				1				1
	食事計画論	1後	○	1						1		
	給食計画・実務論	1後	○	1						1		
	小計(15科目)	—		8	13	0	1	2	0	1	0	3
	専 門 科 目 Ⅰ (栄養士コース必修)	公衆衛生学	2後		2							
社会福祉概論		2後		2								1
体の構造・機能学		1前		2				1				
体の構造・機能学実習		1後		1		1		1				
栄養生化学Ⅰ		1後	○	2		1						
栄養生化学Ⅱ		2前	○	2		1						
運動生理学		2前		1				1				1
健康管理概論		2前		1				1				1
食品衛生学実験		1後		1				1				2
応用栄養学実習		2前		1						1		
臨床栄養学		1後		2								2
臨床栄養学実習		2前		1								2
栄養教育論Ⅰ		1前	○	2			1					
栄養教育論Ⅱ		1後		2								1
栄養教育実習Ⅰ		1後		1			1					
栄養教育実習Ⅱ		2前		1			1					
公衆栄養学概論		2後		2								1
校内給食管理実習	2通	○	2									
学外給食管理実習Ⅰ	2通		2									
小計(19科目)	—		0	29	0	1	1	1	1	0	10	

専門科目Ⅰ（食生活デザインコース必修）	フードスペシャルティ論	2期	○	2		1							
	食料経済学	1期	○	2		1							
	フードデザイン論	2期	○	2		1						1	
	フードマネジメント論	1期		2		1							1
	食空間デザイン	2期		1									1
	フードユーティネット論	2期	○	2			1						1
	食文化論	1期		2									1
	食と地域の課題論	2期		2									1
	おいしさの科学	1期		2									1
	応用調理学Ⅰ	1期		2			1						1
	応用調理学Ⅱ	2期		2									1
	応用調理学実習	2期		2									1
	フードテック論	1期		2									1
	エシカルフード概論	1+2期	○	2		1							1
	フードプロデュース論	1期	○	2		1							1
	フードデザインプロデュース論Ⅰ	2期		2									1
	フードデザインプロデュース論Ⅱ	2期		2									1
	小計(17科目)	—	0	32	0	1	1	1	0	0	6		
	栄養士キャリアアップ講座	2期	○	1		1	1	1					2
卒業研究ゼミナール	2期	○	2		2	3	3						
製菓・製パン実習	1期		1			1							
プロに学ぶ専門料理実習	2期		1			1							
調理学実習Ⅳ	2期		1			1							
学外給食管理演習	2通	○	1			1							
フルーツカクティング演習	2期		1									2	
スポーツ栄養学	2期		1			1							
保育概論	1期		2									1	
フードプロデュース実習(演習)	2通		1									1	
食育演習	2期		1			1							
小計(11科目)	—	0	13	0	2	3	3	0	0	6			
合計(79科目)	—	12	107	0	2	3	3	0	0	33			

卒業要件及び履修方法

卒業するためには2年以上在学し、基礎教育科目から12単位以上、専門科目から28単位以上、その他、基礎教育科目と専門科目から22単位以上、合計で62単位以上で修得する。

専門科目Ⅰ（食生活デザインコース必修）	フードセパシオニスト論	2期	○		2		1				
	食料経済学	2期	○		2		1				
	フードデザイン論	1期	○		2		1			1	
	フードマネジメント論	1期			2						
	食空間デザイン	2期			1						
	フードコーディネート論	2期	○		2		1				
	食文化論	1期									
	食と地域の課題論	2期								2	
	おいしさの科学	1期			1						
	応用調理学Ⅰ	1期			2		1				
	応用調理学Ⅱ	2期			2					1	
	応用調理学実習	2期			1					1	
	フードテック論	1期			2					1	
	エシカルフード概論	1+2期	○		2		1				
	フードプロデュース論	1期	○		2		1				
	フードデザインプロジェクト論Ⅰ	2期			2					1	
	フードデザインプロジェクト論Ⅱ	2期			2					1	
	小計(17科目)	－		0	32	0	1	2	0	0	7
	卒業士キャリアアップ講座	2期	○		0	1	1	1			2
	卒業研究ゼミナール	2通	○				3	3	1	1	
製菓・製パン実習	1期					1					
プロに学ぶ専門料理実習	2期			1		1					
調理学実習Ⅳ	2期			1		1				1	
学外給食管理演習	2通	○		1		1					
フルーツカテイング演習	2期			1						2	
スポーツ栄養学	2期			1			1				
保育概論	1期			2						1	
フードロギーズ実習(演習)	2通			1						1	
食育演習	2通			1		1					
小計(11科目)	－		0	13	0	2	3	1	1	0	7
合計(79科目)	－		12	107	0	2	3	1	1	0	38
卒業要件及び履修方法											
卒業するためには2年以上在学し、基礎教育科目から12単位以上、専門科目から22単位以上、その他、基礎教育科目と専門科目から22単位以上、合計で62単位以上修得する。											

専門科目Ⅰ（食生活デザインコース必修）	フードスペシャリスト論	2期	○		2		1					
	食料経済学	2期	○		2							
	フードデザイン論	1期	○		2		1					1
	フードマネジメント論	1期			2		1					
	食空間デザイン	2期			1							
	フード・ユーティリティ論	2期	○		2			1				1
	食文化論	1期			2							
	食と地域の課題論	2期			2							
	おいしさの科学	1期			2							1
	応用調理学Ⅰ	1期			2							1
	応用調理学Ⅱ	2期			2							
	応用調理学実習	2期			1							1
	フードテック論	1期			2							1
	エシカルフード概論	1+2期	○		2		1					
	フードプロデュース論	1期	○		2		1					
	フード・デザイン・コミュニケーション論Ⅰ	2期			2							1
	フード・デザイン・コミュニケーション論Ⅱ	2期			2							1
	小計(17科目)	-		0	32	0	1	2	0	0	0	7
	栄養士キャリアパス講座	2期	○		1		1		1			2
	卒業研究ゼミナール	2通			0		2	3		1	1	
製菓・製パン実習	1期			1				1				
プロに学ぶ専門料理実習	2期			1				1				
調理学実習Ⅳ	2期			1							1	
学外給食管理演習	2通	○		1				1				
フルールカテイング演習	2期			1							2	
スポーツ栄養学	2期			1					1			
保育概論	1期			2							1	
フード・デザイン実習(演習)	2通			1							1	
食育演習	2期			1				1				
小計(11科目)	-		0	13	0	2	3	1	1	0	7	
合計(79科目)	-		12	107	0	2	3	1	1	0	38	

卒業要件及び履修方法

卒業するためには2年以上在学し、基礎教育科目から12単位以上、専門科目から28単位以上、その他、基礎教育科目と専門科目から22単位以上、合計で62単位以上で修得する。

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ※申請書及び入課設置届書の様式(第2号(その2の1))に準じて作成してください。
- なお、設問可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年4月10日施行期)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年4月10日施行期)の適用期間については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」教育課程等の概要を確読してください。
- ①「専任教員の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」として記載し、「専任教員の配置」欄「専任教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」として記載し、
- ②「認可時又は届出時は設問可時又は届出時の授業科目全て(専任教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前に兼任・兼担教員)を担当する科目を含む)」を黒字で記入して下さい。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の色をして下さい。
- なお、設問可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年4月10日施行期)に基づき、対象学部等を設置している場合、
- ③「認可又は届出時の主要授業科目」欄は削除し、「専任教員の配置」欄「専任教員の配置」「専任教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」として記載し、その上で、各年度においては、「専任教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」は、認可時又は届出時の「専任教員」部には赤字の色をして変更となっていない箇所、
- 「専任教員以外の教員(助手を除く)」(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」部と比較して変更となっている箇所も赤字の色をして下さい。
- (専任教員から専任教員に変更したことをもって赤字の色をする必要はありません。)
- ④履修希望者がなかった未開講授業を教科目について科目名の後半に「(未開講)」と記入して下さい。
- ⑤1ページ目は認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入して下さい。
- ⑥不要な年度(令和7年度開設であれば令和6年度以前)の表は廃棄用紙削捨ててください。
- ⑦「その他」欄は必ず表示してください。
- ⑧専門実践教育の場合、「実験・実習又は実習による授業科目」には「※」、「施設実務実習」による授業科目には「【簡】」、「臨床実務演習」による授業科目には「【補】」を授業科目名の右側に記すこととし、年度ごとに記載してください。
- ⑨指定規則の記載により、新旧がけうらふを行って実施している場合は、旧がけうらふについても記載してください。
- その場合は、新がけうらふ全てを記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
- 新旧がけうらふ年度については、その別附がけうらふに各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例：記載欄) [認可時又は届出時]→[令和6年度]→[令和6年度](新)→[令和6年度](旧)→[令和5年度]→[令和8年度](旧)→[令和7年度](旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

【教育内容充実のための変更】

- ・「スポーツ実技」の「兼任・兼担教員1」を「講師1」に変更。
- ・「スポーツ科学」の「兼任・兼担教員1」を「講師1」に変更。

【基幹教員就任辞退に伴う後任任用及び基幹教員任用延期のための変更】

- ・「基礎ゼミ」の基幹教員の配置を「講師3」から「講師1」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・「応用栄養学」の基幹教員の配置を講師「1」から准教授「1」、「助教1」に変更。
- ・「調理学」の基幹教員の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・「調理学実習Ⅰ」の基幹教員の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・「食事計画」の基幹教員の配置を「講師1」から「助教1」に変更。
- ・「給食計画・実務論」の基幹教員の配置を「講師1」から「助教1」に変更。
- ・「食品衛生学実験実習」の基幹教員の配置を「講師1」から「講師0」、兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
- ・「応用栄養学実習」の基幹教員の配置を講師「1」から「助教1」に変更。
- ・「字内給食管理実習」の基幹教員の配置を講師「1」から「助教1」に変更。
- ・「フードコーディネート論」の基幹教員の配置を「講師1」から「講師0」、「准教授0」から「准教授1」、兼任・兼担教員を「0」から「1」に変更。
- ・「応用調理学Ⅰ」の基幹教員の配置を「講師1」から「講師0」、兼任・兼担教員を「0」から「1」に変更。
- ・「栄養士キャリアアップ講座」の基幹教員の配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・「卒業研究ゼミナール」の基幹教員の配置を「講師3」から「講師1」、「助教0」から「助教1」に変更。

【授業運営上の都合のための変更】

- ・「公衆衛生学」の兼任・兼担教員を「1」から「3」に変更。
- ・「調理学実習Ⅱ」の基幹教員の配置を「講師1」から「講師0」、兼任・兼担教員を「0」から「1」に変更。
- ・「調理学実習Ⅲ」の基幹教員の配置を「講師1」から「講師0」、兼任・兼担教員を「0」から「1」に変更。

【令和8年度】

【教育内容充実のための変更】

- ・「基礎ゼミ」の基幹教員の配置を「教授2」から「教授3」に変更
- ・「調理学実習Ⅲ」の「兼任・兼担教員1」を「教授1」に変更
- ・「応用栄養学実習」の基幹教員の配置を「助教1」から「教授1」に変更
- ・「食と地域の課題論」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更
- ・「応用調理学Ⅰ」の「兼任・兼担教員1」を「准教授1」に変更
- ・「卒業研究ゼミナール」の基幹教員の配置を「教授2」から「教授3」に変更

【授業運営上の都合のための変更】

- ・「応用栄養学」の基幹教員の配置を「准教授1」「助教1」から「教授1」に変更
- ・「食品衛生学実験」の兼任・兼担教員を「2」から「1」に変更
- ・「フードコーディネート論」の基幹教員の配置を「准教授1」から「教授1」、兼任・兼担教員を「1」から「0」に変更

- (注) 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし」と記入してください。
- 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
- 不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。
- 指定規則の改正により、新旧がキヨムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
8 科目	71 科目	0 科目	79 科目	8 科目 []	71 科目 []	0 科目 []	79 科目 []	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1 科目減の場合：△1）
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{79} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3. 施設・設備の整備状況、経費

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	短大全体 併設の高等学校、中 学校、小学校、幼稚園と 共用		
	校 舎 敷 地	5,212㎡	2,847㎡	10,516㎡	18,575㎡			
	そ の 他	㎡	㎡	㎡	㎡			
	合 計	5,212㎡	2,847㎡	10,516㎡	18,575㎡			
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	短大全体 併設の高等学校、中 学校、小学校、幼稚園と 共用		
		4,849㎡ (4,849㎡)	435㎡ (435㎡)	9,229㎡ (9,229㎡)	14,513㎡ (14,513㎡)			
(3)教室・教員研究室		教 室	22室	教員研究室	25室	短大全体		
(4)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具 点	標本 点	短大全体 55,597〔2,540〕
		冊 〔うち外国書〕	電子図書 〔うち外国書〕	種 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕			
	フードデザイン 学部	13,396〔500〕 (13,196〔486〕)	0〔0〕 ([])	13〔1〕 (13〔1〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	370 315	0 0	
	計	13,396〔500〕 (13,196〔486〕)	0〔0〕 ([])	13〔1〕 13〔1〕	0〔0〕 0〔0〕	370 315	0 0	
(5)スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		
		2,765㎡		0㎡		746㎡		
(6)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	120千円	120千円	図書購入費	1,020千円	630千円	630千円
		共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	2,178千円	6,900千円	5,600千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,310千円	1,030千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び

「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)

・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(8)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考		
新 渡 戸 文 化 短 期 大 学	年	人	年次人	人	短期大学 (フーデデザ 短期大学 (食物栄養 短期大学 (臨床検査 学)	倍	倍	年度	年度	東京都中野区本町6丁目38番1号	令和7年度入学生より学生募集停止		
フーデデザイン学科	2	80	-	160		0.79	-	-	令和7				
食物栄養学科	2	-	-	-		-	-	-	昭和25	同上			
臨床検査学科	3	80	-	240		0.67	-	-	平成18	東京都中野区中野3丁目43番16号			
大学全体	2 3	80 80	-	400	-	-	-	-	-	-			

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和9年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5. 教育研究実施組織の状況

5 教育研究実施組織の状況

＜フードデザイン学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	山本 謙治 (53) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		新渡戸レクチャー 基礎ゼミ エシカルフード概論 フードデザイン論 フードマネジメント論 フードプロデュース論 フードメディアプロデュース論Ⅰ 卒業研究ゼミナール 食料経済学 栄養士キャリアアップ講座
基 (主 専)	教授	田地 陽一 (56) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		新渡戸レクチャー 基礎ゼミ 体の構造・機能学実習 基礎栄養学 栄養学 栄養生化学Ⅰ 栄養生化学Ⅱ 卒業研究ゼミナール 栄養士キャリアアップ講座
基 (主 専)		
基 (主 専)	准教授	荒木 葉子 (59) ＜令和7年4月＞ 水産学修士
		基礎ゼミ 食品学 食品学実験 食品加工・鑑別論 食品加工・鑑別実験 食品加工流通学 卒業研究ゼミナール フーズベチャリスト論 栄養士キャリアアップ講座
基 (主 専)	准教授	堀 理佐 (59) ＜令和7年4月＞ 栄養学士
		基礎ゼミ 製菓・製パン実習 調理学実習Ⅱ 調理学実習Ⅲ プロに学ぶ専門料理実習 フルールカッティング演習 卒業研究ゼミナール 調理学実習Ⅳ 栄養士キャリアアップ講座

【令和7年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	山本 謙治 (54) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		新渡戸レクチャー 基礎ゼミ エシカルフード概論 フードデザイン論 フードマネジメント論 フードプロデュース論 フードメディアプロデュース論Ⅰ 卒業研究ゼミナール 食料経済学 栄養士キャリアアップ講座
基 (主 専)	教授	田地 陽一 (57) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		新渡戸レクチャー 基礎ゼミ 体の構造・機能学実習 基礎栄養学 栄養学 栄養生化学Ⅰ 栄養生化学Ⅱ 卒業研究ゼミナール 栄養士キャリアアップ講座
基 (主 専)		
専	准教授	荒木 葉子 (60) ＜令和7年4月＞ 水産学修士
		基礎ゼミ 食品学 食品学実験 食品加工・鑑別論 食品加工・鑑別実験 食品加工流通学 卒業研究ゼミナール フーズベチャリスト論 栄養士キャリアアップ講座
基 (主 専)	准教授	堀 理佐 (60) ＜令和7年4月＞ 栄養学士
		基礎ゼミ 製菓・製パン実習 応用栄養学 調理学 調理学実習Ⅰ フードコーディネーター論 プロに学ぶ専門料理実習 卒業研究ゼミナール 調理学実習Ⅳ 栄養士キャリアアップ講座

【令和8年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	山本 謙治 (55) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		新渡戸レクチャー 基礎ゼミ エシカルフード概論 フードデザイン論 フードマネジメント論 フードプロデュース論 フードメディアプロデュース論Ⅰ 卒業研究ゼミナール 食料経済学 栄養士キャリアアップ講座
基 (主 専)	教授	田地 陽一 (58) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		新渡戸レクチャー 基礎ゼミ 体の構造・機能学実習 基礎栄養学 栄養学 栄養生化学Ⅰ 栄養生化学Ⅱ 卒業研究ゼミナール 栄養士キャリアアップ講座
基 (主 専)	教授	井部奈生子 (51) ＜令和8年4月＞ 博士（栄養学）
		基礎ゼミ 応用栄養学 調理学実習Ⅲ 応用栄養学実習 フードコーディネーター論 栄養士キャリアアップ講座 卒業研究ゼミナール
専	准教授	荒木 葉子 (61) ＜令和7年4月＞ 水産学修士
		基礎ゼミ 食品学 食品学実験 食品加工・鑑別論 食品加工・鑑別実験 食品加工流通学 卒業研究ゼミナール フーズベチャリスト論 栄養士キャリアアップ講座
基 (主 専)	准教授	堀 理佐 (61) ＜令和7年4月＞ 栄養学士
		基礎ゼミ 製菓・製パン実習 調理学 調理学実習Ⅰ 応用調理学Ⅰ プロに学ぶ専門料理実習 卒業研究ゼミナール 調理学実習Ⅳ 栄養士キャリアアップ講座

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
基 (主 専)	准教授	中島(篠藤) 美雪 (46) ＜令和7年4月＞ 准学士	基 (主 専)	准教授	中島(篠藤) 美雪 (47) ＜令和7年4月＞ 准学士	基 (主 専)	准教授	中島(篠藤) 美雪 (48) ＜令和7年4月＞ 准学士
		基礎ゼミ 栄養教育論Ⅰ 栄養教育実習Ⅰ 栄養教育実習Ⅱ 食育演習 学外給食管理実習Ⅰ 学外給食管理演習 卒業研究ゼミナール 栄養士キャリアアップ講座			基礎ゼミ 栄養教育論Ⅰ 栄養教育実習Ⅰ 栄養教育実習Ⅱ 食育演習 学外給食管理実習Ⅰ 学外給食管理演習 卒業研究ゼミナール 栄養士キャリアアップ講座			基礎ゼミ 栄養教育論Ⅰ 栄養教育実習Ⅰ 栄養教育実習Ⅱ 食育演習 学外給食管理実習Ⅰ 学外給食管理演習 卒業研究ゼミナール 栄養士キャリアアップ講座
基 (主 専)	講師	山内 好江 (53) ＜令和7年4月＞ 修士（リハビリテーション）						
		基礎ゼミ 食品衛生学実験 食事計画論 給食計画・実務論 学内給食管理実習 学内給食管理演習 卒業研究ゼミナール 栄養士キャリアアップ講座						
基 (主 専)	講師	浜守 杏奈 (36) ＜令和7年4月＞ 博士（生活科学）						
		基礎ゼミ 調理学 応用調理学Ⅰ 調理学実習Ⅰ 応用栄養学 応用栄養学実習 フードコーディネーター論 卒業研究ゼミナール 栄養士キャリアアップ講座						
基 (主 専)	講師	朴 鐘嶺 (39) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）	基 (主 専)	講師	朴 鐘嶺 (40) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）	基 (主 専)	講師	朴 鐘嶺 (41) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		基礎ゼミ 体の構造・機能学 体の構造機能学実習 運動生理学 健康管理概論 スポーツ栄養学 卒業研究ゼミナール 栄養士キャリアアップ講座			基礎ゼミ スポーツ実技 スポーツ科学 体の構造・機能学 体の構造機能学実習 運動生理学 健康管理概論 スポーツ栄養学 卒業研究ゼミナール 栄養士キャリアアップ講座			基礎ゼミ スポーツ実技 スポーツ科学 体の構造・機能学 体の構造機能学実習 運動生理学 健康管理概論 スポーツ栄養学 卒業研究ゼミナール 栄養士キャリアアップ講座
基 (主 専)			基 (主 専)	助教	小谷 円花 (37) ＜令和7年4月＞ 修士（栄養科学）	基 (主 専)	助教	小谷 円花 (38) ＜令和7年4月＞ 修士（栄養科学）
					基礎ゼミ 応用栄養学 食事計画論 給食計画・実務論 応用栄養学実習 学内給食管理実習 卒業研究ゼミナール 栄養士キャリアアップ講座			基礎ゼミ 食事計画論 給食計画・実務論 学内給食管理実習 学外給食管理実習Ⅰ 卒業研究ゼミナール 栄養士キャリアアップ講座 プロに学ぶ専門料理実習 学外給食管理演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大島 利夫 (66) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		新渡戸レクチャー 食品衛生学実験
兼任	講師	川上 保子 (59) ＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		新渡戸レクチャー
兼任	講師	中村 健司 (59) ＜令和7年4月＞ 医学博士
		新渡戸レクチャー
兼任	講師	西澤 美穂子 (44) ＜令和7年4月＞ 修士（健康福祉科学）
		新渡戸レクチャー
兼任	講師	蜂谷 敦子 (52) ＜令和7年4月＞ 医学博士
		新渡戸レクチャー
兼任	講師	宮地 勇人 (67) ＜令和7年4月＞ 医学博士
		新渡戸レクチャー
兼任	講師	井崎 美鶴子 (43) ＜令和7年4月＞ 修士（社会科学）
		ビジネスマナー キャリアデザイン
兼任	講師	伊藤 僚子 (49) ＜令和7年4月＞ 学士（家政学）
		食品衛生学 栄養士キャリアアップ講座

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大島 利夫 (67) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		新渡戸レクチャー 食品衛生学実験
兼任	教授	川上 保子 (60) ＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		新渡戸レクチャー
兼任	教授	中村 健司 (60) ＜令和7年4月＞ 医学博士
		新渡戸レクチャー
兼任	講師	西澤 美穂子 (45) ＜令和7年4月＞ 修士（健康福祉科学）
		新渡戸レクチャー
兼任	教授	蜂谷 敦子 (53) ＜令和7年4月＞ 医学博士
		新渡戸レクチャー
兼任	教授	宮地 勇人 (68) ＜令和7年4月＞ 医学博士
		新渡戸レクチャー
兼任	講師	天谷 亮介 (31) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		公衆衛生学
兼任	講師	井崎 美鶴子 (44) ＜令和7年4月＞ 修士（社会科学）
		ビジネスマナー キャリアデザイン
兼任	講師	石田 英克 (61) ＜令和7年4月＞ 農学修士
		食品衛生学実験
兼任	講師	伊藤 僚子 (50) ＜令和7年4月＞ 学士（家政学）
		食品衛生学 公衆栄養学概論 栄養士キャリアアップ講座

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	川上 保子 (61) ＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		新渡戸レクチャー
兼任	教授	中村 健司 (61) ＜令和7年4月＞ 医学博士
		新渡戸レクチャー
兼任	講師	西澤 美穂子 (46) ＜令和7年4月＞ 修士（健康福祉科学）
		新渡戸レクチャー
兼任	教授	蜂谷 敦子 (54) ＜令和7年4月＞ 医学博士
		新渡戸レクチャー
兼任	教授	宮地 勇人 (69) ＜令和7年4月＞ 医学博士
		新渡戸レクチャー
兼任	講師	天谷 亮介 (32) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		公衆衛生学
兼任	講師	井崎 美鶴子 (45) ＜令和7年4月＞ 修士（社会科学）
		ビジネスマナー キャリアデザイン
兼任	講師	石田 英克 (62) ＜令和7年4月＞ 農学修士
		食品衛生学実験
兼任	講師	伊藤 僚子 (51) ＜令和7年4月＞ 学士（家政学）
		食品衛生学 公衆栄養学概論 栄養士キャリアアップ講座

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡田 亜紀子 (44) ＜令和7年4月＞ 修士（学術） 公衆栄養学概論
兼任	講師	緒方 胤浩 (30) ＜令和7年4月＞ 修士（工学） フードデザイン論
兼任	講師	小川 真里江 (41) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学） 情報機器演習 栄養マルチメディア演習 MOS演習
兼任	講師	小林 健一 (49) ＜令和7年4月＞ 学士（人間科学） 法学
兼任	講師	木口 圭子 (59) ＜令和7年4月＞ 短期大学卒業 臨床栄養学 臨床栄養学実習
兼任	講師	小山 玲子 (66) ＜令和7年4月＞ 修士（子ども学） 保育概論
兼任	講師	佐藤 彩 (26) ＜令和7年4月＞ 修士（文学） 基礎英語 英会話
兼任	講師	志賀 元清 (54) ＜令和7年4月＞ 農学士 フードプロデュースメディア論Ⅰ フードプロデュースメディア論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井上 祐子 (46) ＜令和7年4月＞ 短期大学士（栄養学） 調理学実習Ⅱ 調理学実習Ⅲ
兼任	講師	緒方 胤浩 (31) ＜令和7年4月＞ 修士（工学） フードデザイン論
兼任	講師	小川 真里江 (42) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学） 情報機器演習 栄養マルチメディア演習 MOS演習
兼任	講師	小林 健一 (50) ＜令和7年4月＞ 学士（人間科学） 法学
兼任	講師	木口 圭子 (60) ＜令和7年4月＞ 短期大学卒業 臨床栄養学 臨床栄養学実習
兼任	講師	小山 玲子 (67) ＜令和7年4月＞ 修士（子ども学） 保育概論
兼任	講師	佐藤 彩 (27) ＜令和7年4月＞ 修士（文学） 基礎英語 英会話
兼任	講師	志賀 元清 (55) ＜令和7年4月＞ 農学士 フードメディアプロデュース論Ⅰ フードメディアプロデュース論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井上 祐子 (47) ＜令和7年4月＞ 短期大学士（栄養学） 調理学実習Ⅱ
兼任	講師	緒方 胤浩 (32) ＜令和7年4月＞ 修士（工学） フードデザイン論
兼任	講師	小川 真里江 (43) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学） 情報機器演習 栄養マルチメディア演習 MOS演習
兼任	講師	小林 健一 (51) ＜令和7年4月＞ 学士（人間科学） 法学
兼任	講師	木口 圭子 (61) ＜令和7年4月＞ 短期大学卒業 臨床栄養学 臨床栄養学実習
兼任	講師	小山 玲子 (68) ＜令和7年4月＞ 修士（子ども学） 保育概論
兼任	講師	佐藤 由実 (51) ＜令和8年4月＞ 修士（法学） 基礎英語 英会話
兼任	講師	志賀 元清 (56) ＜令和7年4月＞ 農学士 フードメディアプロデュース論Ⅰ フードメディアプロデュース論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴鹿 勇二 (73) ＜令和7年4月＞ 文学士
		食のキャリア英語
兼任	講師	徳久 美生子 (65) ＜令和7年4月＞ 社会学博士
		社会学
兼任	講師	富澤 剛 (50) ＜令和7年4月＞ 学士（文学）
		フードプロデュース実習
兼任	講師	古賀 賀恵 (56) ＜令和7年4月＞ 博士（医科学）
		心理学
兼任	講師	二村 悟 (51) ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		食空間デザイン
兼任	講師	萩原 万里子 (66) ＜令和7年4月＞ 医学博士
		運動生理学 健康管理概論
兼任	講師	樋口 直哉 (42) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒業
		おいしさの科学 フードテック論 応用調理学Ⅱ 応用調理学実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴鹿 勇二 (74) ＜令和7年4月＞ 文学士
		食のキャリア英語
兼任	講師	出坂 夏美 (28) ＜令和7年4月＞ 博士（生物資源環境学）
		公衆衛生学
兼任	講師	徳久 美生子 (66) ＜令和7年4月＞ 社会学博士
		社会学
兼任	講師	富澤 剛 (51) ＜令和7年4月＞ 学士（文学）
		フードプロデュース実習
兼任	講師	二村 悟 (52) ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		食空間デザイン
兼任	講師	根本 曜子 (65) ＜令和7年4月＞ 文学士
		社会福祉概論
兼任	講師	萩原 万里子 (67) ＜令和7年4月＞ 医学博士
		運動生理学 健康管理概論
兼任	講師	浜守 杏奈 (37) ＜令和7年4月＞ 博士（生活科学）
		応用調理学Ⅰ フードコーディネーター論
兼任	講師	樋口 直哉 (43) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒業
		おいしさの科学 フードテック論 応用調理学Ⅱ 応用調理学実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鶴岡 公幸 (63) ＜令和8年4月＞ 博士（商学）
		食のキャリア英語
兼任	講師	出坂 夏美 (29) ＜令和7年4月＞ 博士（生物資源環境学）
		公衆衛生学
兼任	講師	徳久 美生子 (67) ＜令和7年4月＞ 社会学博士
		社会学
兼任	講師	富澤 剛 (52) ＜令和7年4月＞ 学士（文学）
		フードプロデュース実習
兼任	講師	二村 悟 (53) ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		食空間デザイン
兼任	講師	根本 曜子 (66) ＜令和7年4月＞ 文学士
		社会福祉概論
兼任	講師	萩原 万里子 (68) ＜令和7年4月＞ 医学博士
		運動生理学 健康管理概論
兼任	講師	樋口 直哉 (44) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒業
		おいしさの科学 フードテック論 応用調理学Ⅱ 応用調理学実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平野 泰三 (67) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒業
		フルーツカッティング演習
兼任	講師	平野 明日香 (51) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒業
		フルーツカッティング演習
兼任	講師	廣川 加代子 (62) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		日本語表現 コミュニケーション
兼任	講師	田代 浩二 (59) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		スポーツ実技 スポーツ科学
兼任	講師	古川 繁子 (71) ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		社会福祉概論
兼任	講師	堀 知佐子 (59) ＜令和7年4月＞ 短期大学卒業
		調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 調理学実習Ⅲ
兼任	講師	溝口 康 (64) ＜令和7年4月＞ 商学士
		食と地域の課題論
兼任	講師	三好 由美 (57) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒業
		臨床栄養学 栄養教育論Ⅱ 臨床栄養学実習 栄養士キャリアアップ講座
兼任	講師	森枝 卓士 (68) ＜令和7年4月＞ 教養学士
		食文化論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平野 泰三 (68) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒業
		フルーツカッティング演習
兼任	講師	平野 明日香 (52) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒業
		フルーツカッティング演習
兼任	講師	廣川 加代子 (63) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		日本語表現 コミュニケーション
兼任	講師	堀 知佐子 (60) ＜令和7年4月＞ 短期大学卒業
		調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅳ
兼任	講師	溝口 康 (65) ＜令和7年4月＞ 商学士
		食と地域の課題論
兼任	講師	三好 由美 (58) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒業
		臨床栄養学 栄養教育論Ⅱ 臨床栄養学実習 栄養士キャリアアップ講座
兼任	講師	森枝 卓士 (69) ＜令和7年4月＞ 教養学士
		食文化論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平野 泰三 (69) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒業
		フルーツカッティング演習
兼任	講師	平野 明日香 (53) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒業
		フルーツカッティング演習
兼任	講師	廣川 加代子 (64) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		日本語表現 コミュニケーション
兼任	講師	堀 知佐子 (61) ＜令和7年4月＞ 短期大学卒業
		調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅳ
兼任	講師	溝口 康 (66) ＜令和7年4月＞ 商学士
		食と地域の課題論
兼任	講師	三好 由美 (59) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒業
		臨床栄養学 栄養教育論Ⅱ 臨床栄養学実習 栄養士キャリアアップ講座
兼任	講師	森枝 卓士 (70) ＜令和7年4月＞ 教養学士
		食文化論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山内 貴史 (47) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		公衆衛生学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山内 貴史 (48) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		公衆衛生学
兼任	講師	湯本 真之 (46) ＜令和7年4月＞ 修士（臨床心理学）・修士（文学）
		心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山内 貴史 (49) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		公衆衛生学
兼任	講師	湯本 真之 (47) ＜令和7年4月＞ 修士（臨床心理学）・修士（文学）
		心理学

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）（その2の2）（その2の3）に準じて作成してください。
- なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等
 - ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（助手を除く）
 - その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」（改正後大学設置基準等
 - ・改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引く
 - ・教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間（年月日）を上段「学位」の下へ記入してください。
 - ・不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

(基幹教員)

- ・山内好江基幹講師就任辞退により、小谷円花基幹助教を任用。
- ・浜守杏奈基幹講師就任辞退。後任未定であるが令和7年10月から基幹教員採用予定で公募中。
- ・山内好江基幹講師及び浜守杏奈基幹講師の就任辞退に伴い、堀理佐基幹准教授、中島美雪基幹准教授、小谷円花基幹助教の担当科目を調整。

(兼担・兼任教員)

- ・古賀賢恵兼任講師就任辞退により、科目担当に湯本真之兼任講師を任用。
- ・授業運営上の都合により、一部科目担当に天谷亮介兼任講師・出坂夏美兼任講師を任用。
- ・山内好江基幹講師就任辞退により、一部科目担当に石田英克兼任講師を任用。
- ・浜守杏奈基幹講師就任辞退により、一部科目担当に同氏を兼任講師として任用並びに堀知佐子兼任講師に変更。
- ・兼担講師記載の大島利夫、川上保子、中村健司、蜂谷敦子及び宮地勇人は兼担教授として誤記を修正。
- ・授業運営上の都合により、堀知佐子兼任講師の一部科目担当に井上祐子兼任講師を任用。
- ・岡田亜紀子兼任講師就任辞退により、科目担当を伊藤僚子兼任講師に変更。
- ・授業運営上の都合により、田代浩二兼任講師の担当科目を朴鐘燮基幹講師に変更。
- ・古川繁子兼任講師就任辞退により、科目担当に根本曜子兼任講師を任用。

【令和8年度】

(基幹教員)

- ・浜守杏奈基幹講師就任辞退により、後任未定であったが、井部奈生子教授を任用。

(兼担・兼任教員)

- ・佐藤 彩兼任講師就任辞退により、科目担当に佐藤 由実兼任講師を任用。
- ・鈴鹿 勇二兼任講師就任辞退により、科目担当に鶴岡 公幸兼任講師を任用。

(注)・変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・**認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。

原則としてＡＣ教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、ＡＣ教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要があります。）

- ・ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

- (注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）」の設置の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2) -③ 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2) -② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における 設置基準上の必要基 幹教員数（α）	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数	うち、完成年度時における 設置基準上の専ら当該学部 等の教員研究に従事する必 要基幹教員数（α）の4 分の3以上
5	2	4
名	名	名

- (注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
- ・高等専門学校の場合、うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数・准教授数は、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	うち専ら当該学部等の 教員研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （A'）	助手 (A'')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	うち専ら当該学部等の 教員研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （B'）	助手 (B'')
2	3	3	0	8	8	3	3	3	1	1	8	8	3
[2]	[3]	[1]	[1]	[7]	[7]	[3]							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	うち専ら当該学部等の 教員研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （C'）	助手 (C'')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	うち専ら当該学部等の 教員研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （D'）	助手 (D'')
3	3	1	1	8	8	3	3	3	1	1	8	8	3
[0]	[0]	[Δ2]	[1]	[Δ1]	[Δ1]	[]	[0]	[0]	[Δ1]	[1]	[0]	[0]	[0]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」として記入してください。
- なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
- また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」（A'）」欄には「－」を記入してください。
- ・現在（報告時）の状況には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 - ・現在（報告時）の完成年度時の状況には、認可で設置された学部等の場合は、現在（報告時）の状況に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、属出で設置された学部等の場合は、現在（報告時）の状況に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
〔 〕内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 - ・現在（報告時）の完成年度時の計画には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
〔 〕内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
63	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて基幹教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて基幹教員として採用する教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】
現在（報告時）の完成年度時の状況(C) = $\frac{8}{8} = 100$ %
設置時の計画(A)

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】
現在（報告時）の完成年度時の状況(C') = $\frac{8}{8} = 100$ %
設置時の計画(A')

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
現在（報告時）の状況(B) = $\frac{0}{8} = 0$ %

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況(C'') = $\frac{3}{3} = 100$ %
設置時の計画(A'')

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹(専任)教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹(専任)教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹(専任)教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由
1	講師	山内 好江	R7.3	必修	基礎ゼミ	①	R7.3依願退職の願出に対し、 合意による就任辞退(7)
				選択	食品衛生学実験	②	
				選択	食事計画論	①	
				選択	給食計画実務論	①	
				選択	学内給食管理実習	①	
				選択	学内給食管理演習	①	
				選択	卒業研究ゼミナール	①	
				選択	栄養士キャリアアップ講座	①	
2	准教授	浜守 杏奈	R7.3	必修	基礎ゼミ	①	R7.3依願退職の願出に対し、 合意による就任辞退(7)
				必修	調理学	①	
				選択	応用調理学 I	①	
				選択	調理学実習 I	①	
				選択	応用栄養学	①	
				選択	応用栄養学実習	①	
				選択	フードコディネート論	①	
				選択	卒業研究ゼミナール	①	
				選択	栄養士キャリアアップ講座	①	
合 計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	14 科目	選択	13 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	17 科目	計	16 科目	計	1 科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹(専任)教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。

就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、

「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、

「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」

・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」

・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹(専任)教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合 計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹(専任)教員について、記入してください。

(学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、

「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、

「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」

・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」

・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	14 科目	選択	13 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	17 科目	計	16 科目	計	1 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{2}{8} = 25\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和7年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

・令和8年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。

- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・基幹教員未就任2名の補充について2名の採用が完了している。学生への周知は、年度初めのオリエンテーションにて、シラバス・学生便覧をもって説明している。

(注)・上記(3)の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6. 附帯事項等に対する履行状況等

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
届 出 時 (令和6年)	該当なし				
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和7年度)	該当なし				
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和8年度)	該当なし				

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。
【令和 7 年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和 7 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（ 7 ） 」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（ 8 ） 」と記載してください。
【令和 7 年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和 7 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（ 7 ） （ 8 ） 」と記載してください。
【令和 8 年度から新たに調査対象となった学科等又は令和 7 年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（ 8 ） 」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7. その他全般的事項

7 その他全般的事項

<フードデザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況
 - ・教務委員会を常設し、FD・SDについて計画し実施し毎年実施
 - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・毎月1回（8月を除く全11回）開催し、委員（教員・職員）全員が出席
 - c 委員会の審議事項等
 - ・毎年のFD・SDテーマについて検討し、教授会に上程
 - ・教育課程の検証と見直しの可否
 - ・シラバスの記載内容の案内と教務事務管理職の第三者チェック実施（2月中旬～3月上旬）
 - ・授業アンケート、公開授業アンケート結果の検証と改善
 - ・非常勤講師への教務研修（教育懇談会）の内容検討と開催 等
- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ・年度初の合同学科会にて、学長による短大方針の講演 4/1
 - ・毎年8月に全員参加の短大FD（SD含む）として実施 8/29
GoogleClassroomを活用した授業方法、合理的配慮、ハラスメント 等
 - ・前学期、後学期に1回ずつ公開授業（教員相互の授業参観・職員参観推奨） 5/26－6/7, 11/10－11/22
 - ・3年に1回、研究倫理研修を実施（日本学術振興会eラーニング）8/1－8-31
 - ・学園主催の研修
セキュリティポリシー6/27、防災訓練9/30、エビペン研修8/30、AED研修3/16～17、評価研修7/22 等
 - b 実施方法
 - ・原則対面開催、一部オンライン開催あり
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・原則毎年実施し、全ての研修において、全教職員が参加（研究倫理eラーニングは教員のみ）
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・授業アンケート、公開授業アンケート結果は教員にフィードバックされ、振返りシートを回収（非常勤講師含む）
 - ・職員においては、施設・設備・インターネット環境等の不具合を早期に改善し、授業環境を整備
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - ・各学期の最終回を目的に全ての授業科目で実施
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・前述のとおり、教員には担当授業科目ごとに結果をフィードバックし振返りシートを提出
 - ・学生には学期ごとに全ての授業科目について結果をファイルし図書館で公開

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

該当なし

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 設置の趣旨

フードデザイン学科は、この後に予想される食領域へのニーズに対応できる知識・技術を身に付けた人材を養成するため、学科に栄養士コース〔入学定員50人、短期大学士（フードデザイン）〕と食生活デザインコース〔入学定員30人、短期大学士（フードデザイン）〕を設置した。

栄養士コースでは、食物栄養学科で培った実績を基に、食や栄養と健康の理念をふまえた幅広い知識を応用する能力と、基本的な調理技術を修得し、現場で活躍できる心豊かな栄養士を養成する。

食生活デザインコースでは、現在の幅広い食分野での様々な課題を発見し、新たな食システム・サービス・食品を想像できる人材を養成する。

2. 教育課程の編成

<栄養士コース>

食や栄養と健康の理念をふまえた幅広い知識を応用する能力と、基本的な調理技術を修得し、現場で活躍できる心豊かな栄養士を養成する教育課程を編成している。

① 栄養士法施行規則に従い、栄養士資格取得のための必修科目を設置する。

② 栄養士としての専門知識の定着のために、「基礎ゼミ」および「栄養士キャリアアップ講座」を設置します。就業力育成のために「ビジネスマナー」「キャリアデザイン」「エシカルフード概論」等を設置する。

③ 「おいしい料理が作れる栄養士」の養成に向けた技能を修得するために、「プロに学ぶ専門料理実習」「フルーツカッティング演習」「製菓・製パン実習」および「調理実習Ⅳ」等の専門科目を設置する。

④ 「食品加工流通学」「食料経済学」および「食空間デザイン」等、フードスペシャリスト受験資格およびフードコーディネーター3級取得に必要な専門科目を設置する。

<食生活デザインコース>

日本および海外の食文化に対する知識と、課題解決の手法を修得したうえで、よりよい社会を創り出すために食生活をデザインする力を修得します。また食産業の現場で必要となるマネジメントやプロデュースの基本的な考え方と実践的な技術を学ぶための教育課程を編成している。

① 食の現場で有用な「基礎ゼミ」栄養学」「調理学」「食品加工学」等の必修科目を設置し、食産業に必要な基礎的な知識を修得できるようにします。

② 就業力育成のために「ビジネスマナー」「キャリアデザイン」等を設置します。

③ 日本の伝統と文化、および食の現状を広範に理解し、食生活のデザインを通じて社会課題を解決する視座を獲得するために必要となる「フードデザイン論」「食文化論」「食と地域の課題論」「エシカルフード概論」を必修科目に設置する。

④ 食品の商品開発と、食産業におけるマネジメントに関する基礎と実践を学ぶため「フードプロデュース論」「フードマネジメント論」を設置します。また食産業の各段階で重要となる広報・メディア発信の技法を学ぶため「フードメディアプロデュース論ⅠおよびⅡ」を設置する。

⑤ 技術の進歩を取り入れて食生活をよりよいものにデザインし、社会課題の解決につながる先端的な調理科学と技術を学ぶため「おいしさの科学」「応用調理学ⅠおよびⅡ」「フードテック論」を設置する。

⑥ 「食品加工流通学」「食料経済学」および「食空間デザイン」等、フードスペシャリスト受験資格およびフードコーディネーター3級取得に必要な専門科目を設置する。

3. 設置に向けた新たな体制整備

① 社会人の受入れを推奨するため、開設時期となる令和7年4月入学生から、栄養士コース（独占資格）・食生活デザインコース（職業育成力実践プログラム）共に厚生労働省の専門実践教育訓練給付金制度が利用できる講座の指定を受けた。

② 本学は、文部科学省から「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援（メニュー1）」の選定を受け、フードデザイン学科の設置をはじめとした本学の取組みが評価された。

4. 学生の受入れ

令和6年度は、入学定員80名に対し62名が入学、入学定員超過率は0.77倍となった。

令和7年度は、入学定員80名に対し69名が入学、入学定員超過率は0.86倍となった。

5. 総括評価・所見

初年度の学生募集は、設置届出後の活動となり、厳しい状況もあったが、前述の新たな体制整備の告知により、令和9年度の入学候補となるオープンキャンパス参加者が増加傾向にある。この後も中長期計画を検証し学生確保に向けた取組みを進めていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和2年7月27日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開（令和2年7月）

③ 認証評価を受ける計画

・令和9年に評価機関（一般財団法人大学・短期大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和8年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 調査結果公表後 1 ヶ月以内 ・ 公表後 2 ～ 3 ヶ月以内 ・ 公表後 3 ヶ月以降

c. 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。